インターネットツールの最新情報

WWWブラウザーHot Line Vol.13

THIS MONTH'S TOP NEWS

CD-ROM収録先
Msie_50

インターネットエクスプローラ5正式版ついに公開！

インターネットエクスプローラ5がようやく正式版となった。鳴り物入りで登場し、さまざまな話題を呼んだバージョン4と比べると、あまり変化はないように見える。しかしその中には数々の斬新な機能が秘められているのだ。今月はIE 5を中心に1ページ増でお届けしよう。

正式版はCD-ROMから

長らくベータ版のままだったインターネットエクスプローラ（IE）のバージョン5正式版がついに公開された。日本語版も同時の公開だ。右のURLからダウンロードできるが、ダイアルアップ接続しているユーザーは本誌の付録CD-ROMからインストールするのが早いだろう。インストールの際にはぜひ「ブラウザのカスタマイズ」を選んでほしい。インストールするコンポーネントを細かく選択できるし、「詳細設定」ボタンでIE 4を残す設定やファイルの関連付けをしない設定ができる。

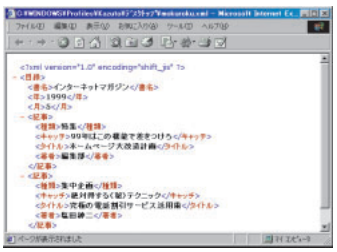
アクティブデスクトップはなくなった

IE 4の目玉だったアクティブデスクトップはIE 5には含まれていない。IE 4やウィンドウズ98をインストールしていないユーザーがIE 5をインストールしても、デスクトップやタスクバー、フォルダーはそのままだ。チャンネルもなくなった。IEのツールバーからは「チャンネル」ボタンが消え、エクスプローラバーにもチャンネルを表示できない。また、Javaバーチャルマシンは付属しているものの、「標準インストール」を選んでもインストールされない。IE 5では、過去に大きく宣伝されながらその後目立った進展がないものを切り捨て、新しい方向に向かおうとしているように思われる。

ウェブの表現能力の強化

IE 5の新しい方向性の1つは、ウェブページの表現能力の強化にこれまで以上に重点が置かれていることだ。本誌の連載「HTML TIPS&TRICKS」でも紹介してきたように、ルビをふるタグやIMEを制御するスタイルシートが導入され、日本語など英語以外の環境のサポートが進んでいる。JavaScriptでは、標準規格となったDOMをサポートした。また、次世代のマークアップ言語XMLについては、右下の図のように直接表示する機能が付いた。XMLにスタイルシートを適用させてHTMLのように表示することもできる。ベクトルグラフィックをタグで表現するVMLもサポートした。

URL：
http://www.microsoft.com/japan/ie/



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

IE 5の新機能を一挙紹介

これまで派手な機能に隠れて見過ごされがちだった細かい使い勝手に磨きがかけられているのも、これまでと違った点だ。「ウェブを閲覧するためのソフト」としての基本に立ち返ったかのようだ。そうしたIE5の便利な新機能を一挙に紹介しよう。

アドレスの自動補完

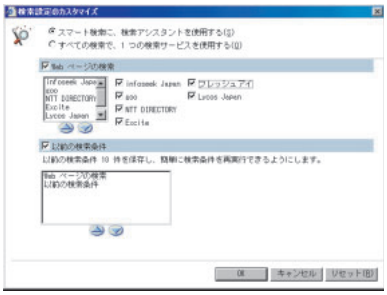
URL入力欄でのアドレスの自動補完が使いやすくなった。IE4では文字が同じ場所に表示されるのでとまどうことが多かったが、IE5では入力候補がドロップダウンリストで一覧表示される。

ラジオバー

ツールバーに「ラジオバー」機能が追加された。「ラジオ局ガイド」というページで番組を選べば、音楽やニュースを聞きながらウェブページを見て回ることができる。

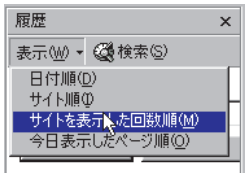
検索のカスタマイズ

エクスプローラバーの「検索」の機能がアップした。探したい語句を入力するだけでなく、以前に入力した語句を選んで検索もできる。また、下の図のようにどの検索エンジンを使うかカスタマイズもできる。



履歴の順序を変える

エクスプローラバーの「履歴」では、4つの順序で履歴を一覧表示できる。これまでのサイト順に加え、日付順、サイトを表示した回数順、今日表示したページ順でソートできる。

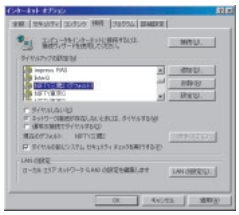


関連したリンクの表示

ネットスケープコミュニケーター4.5の特徴である関連サイトの表示がIEにも付いた。「ツール」メニューから「関連したリンクの表示」を選ぶと、エクスプローラバーに関連サイトの一覧が表示される。

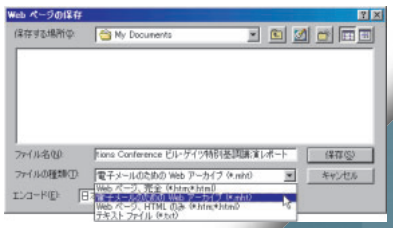
プロキシーを自動的に変更

オプション画面の「接続」タブでは、LAN接続と複数のダイアルアップ接続でそれぞれプロキシーを設定できるようになった。社内LANでは会社のプロキシー、ダイアルアップ接続ではプロバイダーのプロキシーを自動的に選んで使用できる。



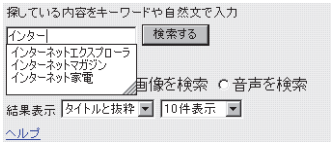
ページをまるごと保存

「名前を付けて保存」では、ウェブページを画像も含めて1つのファイルにしてハードディスクに保存できるようになった。



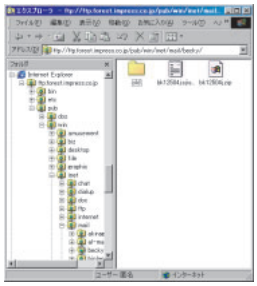
フォームの入力補完

URL入力欄のように、ページ上のフォームのテキスト入力欄でも過去に入力した語句がドロップダウンリストに入力候補となって一覧表示されるようになった。また、ウェブメールのように名前とパスワードのセットを入力させるページでは、パスワードを保存して、次回からは名前を入力するだけでパスワードが自動的に入力されるようになった。



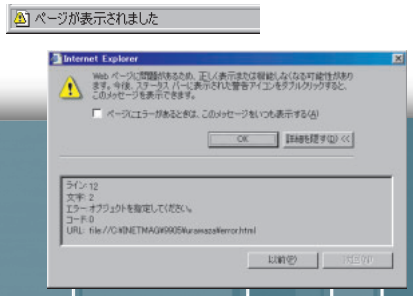
FTPのアイコン表示

FTPサイトのフォルダーやファイルがハードディスク上のようにアイコン表示されるようになった。FTP上のフォルダーをハードディスクのフォルダーのようにツリー表示することもできる。また、ファイルのダウンロードだけでなくドラッグ&ドロップによるアップロードにも対応した。



じゃまにならないエラー表示

これまではJavaScriptでエラーが発生すると突然メッセージが表示されるのがじゃまだった。IE5ではエラーが起きてもメッセージは表示されない。エラーの内容を見たいときは、ステータスバー上のアイコンをクリックする。

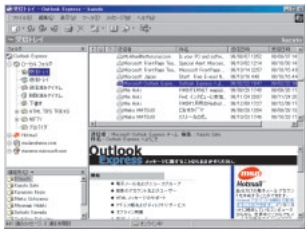


©1994-2007 Impress R&D

多彩な機能が魅力の アウトルックエクスプレス 5

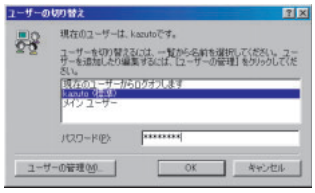
これがアウトルックエクスプレス5の新機能だ

今回アウトルックエクスプレスもIEとともにバージョン5となった。インストールして一目で違いに気付くのが、フォルダーツリーの下にある連絡先一覧だ。ここから送信先を指定して新しいメッセージを作成できる。アウトルックエクスプレス5はそれだけにとどまらず、数々の便利な新機能を用意している。



マルチユーザー対応

複数のユーザーでパソコンを共有している場合、「ファイル」メニューから「ユーザー」を選べば、互いのメールフォルダーを見られることなしに同じアウトルックエクスプレス5を使用できるような設定ができる。

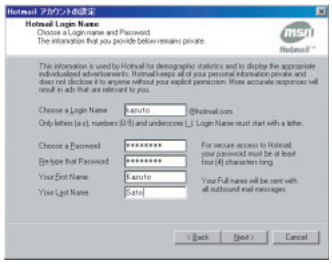


マルチアカウントの強化

複数のアカウントを持っている人にとっては、アウトルックエクスプレス5はたいへん便利になった。ツールバーの「送受信」ボタンの横の矢印を押せば、どのアカウントで送受信するか選択できる。メッセージ作成画面では送信するアカウントをリストから選択できる。

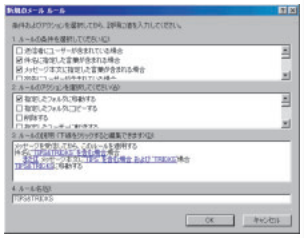
Hotmailの取り込み

「ツール」メニューから「新しいアカウントのサインアップ」を選ぶと、マイクロソフトの無料メールサービスHotmailのアカウントを取得して追加できる。Hotmailはウェブメールだが、アウトルックエクスプレス5を通してメールを送受信できるようになっている。



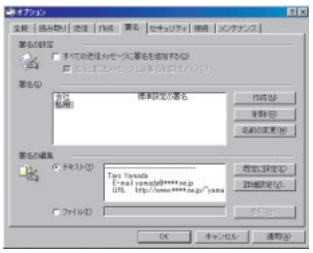
大幅に強化されたメッセージルール

アウトルックエクスプレス5の最大の強化点は、高機能になったメッセージルールだ。条件にメッセージの内容に含まれる文字を指定できるようになったり、「および」や「または」を指定して複数の条件を関係付けたりできる。作成の際のインターフェイスもアウトルック98に似たものになった。



複数署名のサポート

メッセージに挿入する署名を複数登録して選択できるようになった。単に複数作れるだけでなく、どのアカウントに署名を結び付けるかの指定もできる。



★★★コンゲツノTOPICS!★★★

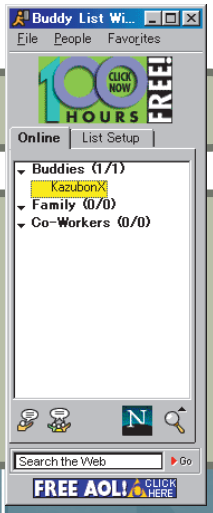
ネットスケープコミュニケーター4.51公開

ネットスケープは、コミュニケーター4.5のマイナーバージョンアップ版である4.51を公開した。日本語版はウィンドウズ（95、98、NT）用だけが公開されている。下のURLからダウンロードできるが、本誌の付録CD-ROMにも収録されている。

以前に報告されたフレームのセキュリティーホールが改善されたほか、付属のメッセージングソフト「Netscape AOL Instant Messenger」がバージョン2となった（左の画面参照）。

URL
http://home.netscape.com/ja/download/

CD-ROM収録先
Win→Netscape→32bit



インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.